





自動販売機から出来るSDGsの取組み

取組開始時期	2011年	取組カテゴリー	環境対策	応募部門 (○を付ける)	PF会員間連携部門	○	一般部門	
1. 団体名	カネパッケージ株式会社		2. 連携先の団体	・自販機設置企業：能美防災(株)、リシュモンジャパン(株)、(株)成茂化学機器研究所、ティアックカスタマーソリューションズ(株)、(株)帆栄物流、(株)リガルジョイント、アイフォーコム東京(株)、田中貴金属工業(株)他 ・マングローブ植林：◎埼玉県庁、埼玉大学、フィリピン環境庁				
3. 取組目的	マングローブ林の伐採によって、自然環境破壊が深刻な地域の現状を知って貰い、自動販売機を通して共に植林活動に参画しSDGsに取組んでいることを認識して貰う。			4. 関連するゴール				

5. 取組経緯

2021年9月現在、延べ80社の周辺企業様やお取引様に賛同頂き自動販売機を設置。毎月の売上の一部を寄付頂き、フィリピンで行っている植林のマングローブ苗の購入金に充てています。10年間で13万本分の寄付金が集まりました。また、マングローブの植樹も県や大学の協力を頂きながら約1,200万本達成し現在も活動を継続中です。

6. 取組概要（100字以内） ※1次選考にて、投票ページに掲載します

自動販売機設置企業様から毎月缶ジュースの売上金の一部をマングローブ植林基金として寄付頂き、フィリピンの環境庁の協力を仰ぎ、従業員及び地元住民と共にマングローブの植樹や育成を行っている。



取組のポイント（3つの視点）

地方創生SDGsの視点

SDGsに取組みたいけどどうしたら良いかわからない企業が多い。この取り組みは一部地域だけでなく全国どこでも参画でき、自動販売機を設置することでSDGs（環境破壊対策）にもしっかり取り組むことができ貢献できる活動です。

ステークホルダーとの連携

産官学と緊密に連携することで、海外での植林活動やマングローブに関するスキルアップがスムーズに効率的に実施することが出来き、また、賛同企業の紹介等活動活性化が図れます。

モデル性・波及性

マングローブの植林以外にも、森林の保全や海洋資源の保全などあらゆる活動に普及でき、缶ジュース1本から簡単に個人でも参画できるので、持続的な活動が期待できる。

7.取組詳細（取組内容の詳細及び取組によって得られた成果、今後の方向性等）

<空気が綺麗になる仕組み>

「CO2削減」 マングローブは1本当たり
年間約5キロのCO2を吸収。



* 缶ジュース10本で1本のマングローブが植林可能です。
(缶ジュース1本の収益を10円、マングローブ1本100円として計算)

* 1台の自動販売機にて月1,000本(1日30本~計算)販売した場合
毎月100本のマングローブ植林が可能です。

* 100本X1年間(12ヶ月)X5キロ=約6tのCO2を削減!

同じ地球の一員としてできる事。

当社が提案する環境への取り組みの輪が
クライアント様から世界へ繋がっていく事を信じています。

<導入のメリット>

広告宣伝費0で最大の効果!

1、企業イメージ向上

この自動販売機を、御社の玄関等目立つところに設置いただく事で
ご来場のお客様に対し、SDGsの取り組み及び社会貢献企業を
アピールする事が可能です。

2、従業員の方への意識向上

毎月、植林証明書を発行する事も可能ですので、毎日利用される
従業員の方々も、環境意識、社会貢献意識が高まります。

3、費用0

今までのサービス内容は一切変わりません。

Planted seedlings	Year	Total number of seedlings planted
81,400	2009	81,400
234,085	2010	315,485
95,657	2011	411,142
1,866,069	2012	2,277,211
2,160,088	2013	4,437,299
1,490,149	2014	5,927,448
780,020	2015	6,707,468
1,537,730	2016	8,245,198
1,946,392	2017	10,191,590
1,697,729	2018	11,889,319
32,210	2019	11,921,529
34,500	2020	11,956,029
200,000	2021	12,156,029

【年度別植林本数】



2009年



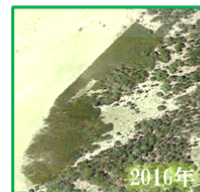
2010年



2013年



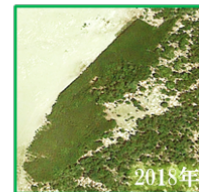
2014年



2016年



2017年



2018年



2020年

【植林後の遷移】

● 今後の方向性

自動販売機設置数を増やし2030
年までに寄付金のみで15万本の植
樹を目指す。

● 関連URL

カネパッケージ株式会社HP

<https://www.kanepa.co.jp/>

CSR報告書

<https://www.kanepa.co.jp/assets/files/csrreport/csrreport2021.pdf>